

七葉中学校区内の小学校統合検討委員会だより

《第2号》平成31年3月15日発行

第2回検討委員会を開催しました

平成31年1月23日、第2回七葉中学校区内の小学校統合検討委員会を開催しました。今回の検討委員会では以下の3つの議題について協議しましたので、その概要をお知らせいたします。

- 1 統合時の教室配置（案）について
- 2 校名等について
- 3 統合に向けたスケジュール（案）について



検討委員会の様子

1 統合時の教室配置（案）について

第1回検討委員会で、現在の七葉小学校で統合した場合、校舎の増改築をしなくても教室数は足りるのかという意見が出され、教育委員会から次の案が示されました。

2年後の4月に統合した場合、児童数の状況から、普通教室は10クラス必要となりますが、現在の七葉小学校の施設で対応可能と見込んでいます。

具体的な案として、現在少人数学習室として使用している教室や児童会室を普通教室に転用し、10クラス分確保します。また、特別支援学級は既存教室を2つに分けて使用します。

なお、児童数の変動により、増改築が必要となった場合は、その都度教育委員会で対応します。

2 校名等について

第1回検討委員会で、「統合の時期は平成33年4月1日を目標とする」、「統合校の場所を七葉小学校の位置とする」ことが承認され、今回は校名や校章と校歌について協議しました。

（裏面に続きます）

※ 新元号が決定するまでの間、平成標記を行っています。

教育委員会からの説明

(1) 新発田市内の小学校統合事例（全て中学校の校名が採用されている。）

統合年度	中学校区	統合した小学校	統合小学校名
平成20年度	加治川	加治川、中川、新金塚	加治川
平成26年度	川東	川東、竹俣、車野	川東
平成30年度	東	松浦、五十公野、米倉、赤谷	東
平成33年度(予定)	豊浦	中浦、天王、荒橋、本田	豊浦

(2) 複式学級解消を見据えた統合時期

複式学級を含む学校統合の場合、授業のカリキュラムの関係から2年毎に統合適期となる。菅谷小学校の複式学級を早期解消するためには2年後の統合が望ましく、そこを逃すと4年後となる。

校名を変更する場合、付随して校章と校歌も変更する必要がある、作成に時間を要する。

委員からの主な意見

- 菅谷小学校区教育懇話会が行った学校統合に関する住民アンケート結果では、「菅谷小学校の名前を残してほしい」という意見があったので、十分ご理解いただきたい。
- 仮に、校名を変更するとすると、さらに時間が必要となるので、2年後の統合目標年度に間に合うか心配である。
- この検討委員会では、菅谷小学校の複式学級を解消し、子どもたちの望ましい教育環境整備を推進することが重要な目的であると思う。
- 菅谷小学校区の住民アンケートの結果は、心情的に理解できるが、市内の統合事例からしても、中学校の名称が「七葉」であり、現在の七葉小学校の場所で統合するので、学校名は「七葉小学校」が妥当ではないか。

協議の結果

【校名】2年後の統合を目指すにあたり、検討委員会では「七葉小学校」を校名とするということで意見がまとまる。

【校章と校歌】校名を「七葉小学校」とすることから、校章と校歌については変更すると統合までのスケジュールが厳しくなることや、体操着や名札の変更が必要となるなど保護者の負担増を避けるためにも、現行の七葉小学校のものを引き続き使用することで意見がまとまる。

3 統合に向けたスケジュール（案）について

教育委員会から統合に向けた今後のスケジュール案の説明があり、承認されました。

今後は、検討委員会に関係校の校長先生も加わっていただきます。

また、学校でも教職員が主体となって統合準備を進めていきます。なお、通学支援や用具関係、両校児童の交流事業、諸経費等決めなければならないことは専門部会を立ち上げ、個別に対応していきます。

これらのことは、学校・PTA・保護者・自治会等と協議を行い、随時、関係者にお知らせいたします。

七葉中学校区内の小学校統合検討委員会
【事務局】

新発田市教育委員会

担当 教育総務課 橋本・小田切

新発田市乙次281番地2

電話 22-9531

Fax 26-3755

E-mail: kyoiku@city.shibata.lg.jp